

名称	金田家住宅主屋 (かねだけじゅうたくおもや)
所在地	鎌倉市極楽寺三丁目 1017
建築年代	明治 18 年／昭和 39 年改修
登録基準	2 号該当 (造形の規範となっているもの)
特徴等	極楽寺門前に位置する旧名主の主屋。東面して建ち、桁行 ^{けたゆき} 19m、梁間 ^{はりま} 9 m、 入母屋造 ^{いりもやづくり} で四周に下屋 ^{げや} を廻らす。六間取平面で土間上部は豪壮な井桁状 ^{むつまどりへいめん} の 梁組 ^{はりぐみ} を現し、ヒロマに成の高い差鴨居 ^{さしかもい} を用いる。式台 ^{しきだい} や座敷飾 ^{ざしきかざり} を完備したオク の存在が家格を示す。



名称	旧大佛次郎茶亭 (きゅうおさらぎじろうちゃてい)
所在地	鎌倉市雪ノ下一丁目 415
建築年代	大正 8 年／令和 5 年改修
登録基準	2 号該当 (造形の規範となっているもの)
特徴等	鶴岡八幡宮の南方に位置する茅葺建築。 ^{かやぶき} 南面して建ち庭に面して随所に銘木を ^{めいぼく} あしらう茶室を二室並べる。西室は床脇に円窓を開け ^{とこわき} 違棚 ^{えんそう} を配すなど斬新な ^{ちがいだな} 意匠。鎌倉では希少な関東大震災以前の建物で、小説家大佛次郎がサロンとして使用した、上質な数寄屋風建築。 ^{すきや}

